(日刊) 明治卅八年十月廿五日第三種郵便物認可 昭和三年一月二日 THE MANSHU NIPPO (月曜日) 第七千七百六十五號 (一)

夕刊 滿洲日報 一月二日

聖壽萬歲を祝ぐ 明るい大連の元旦
千餘名參會し盛況を極めた 市民名刺交換會

大連の元旦は近年稀に見る暖かさの上、諒闇明け第一年のことゝて廻禮の人々も頗る多く、久し振りで正月らしい氣分が街々に搖曳してゐた、滿鐵民政署遞信局を始め各官衙商店はそれ／＼午前十時頃より

拜賀式 を行ひ、午前十一時十五分よりは大廣場ヤマトホテルに於て一般市民の新年名刺交換會が開かれた、參集するもの實に千餘名、會衆は大食堂にあふるゝの盛況にて、小數賀大連市長代理の年頭の辭が終ると場内の一隅からいとも莊重な音律が起つて

君が代 を吹奏、參列者一同はいとも嚴肅な氣分に打たれ乍らに唱和し大連田中民政署長の發聲にて天皇皇后兩陛下の萬歲を三唱、滿鐵山本社長の發聲にて大連市萬歲を三唱午前十一時四十分盛況裡に散會した、なほ當日は滿洲館、民政署長遞信局長官舍その他各官舍社宅に於て年賀を受けた、本年の元日は數年來にない賑やかな情景に暮れた

昭和三年の諒闇あけにしかも明治維新六十一年の辰年を迎へたのは吾人として新生の道を進まねばならぬと新年の所感を述べ土肥所長の發聲にて萬歲を三唱し、喜々として諒闇明の元旦を祝福して散會した市中には戸ごとに國旗がはためき年賀客右往左往して新春らしい情景を呈してゐた

旅順互禮會 感慨深き開城日
官民昭和園に集り 新年の喜びに輝く

平和に明けた旅順の新年は山色もまたあらたに市中の〆飾り松飾り麗しく鬱榮ゆる春の光りは普く漂ひ

天地は 擧げてよろこびの聲に滿ちた、其昔日露の戰ひに開城したのもけふ……その新年の互禮會と開城を祝す記念會とを合せ行ふ官民合同の會は正午から朝日町の昭和園で催された、久保長官代理、村岡軍司令官、齋藤參謀長、河田要塞司令官、土屋高等法院長、平石市長、米岡市會議長はつたを始め詰め寄せた官民約二千名、平石市長起つて

司會者 を代表し開會の辭を述べ一同君ケ代を三唱、天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下の萬歲を三唱し終つて開宴、冷酒を酌んで閉會したがまた關東廳では午前十時より會議室で拜賀式を擧行し御眞影を奉拜し、關東軍司令部でも同十時半から其他各學校でも午前九時乃至十時までの間に拜賀式を擧行し市中は廻禮の人達で賑

四平街【四平街特電一日發】諒闇明けの昭和三年の新春を迎へた當地全市にわたり日章旗は翻り一入晴やかなる輝きに充つ午前十時小學校に於て祝賀遙拜式を擧行し同十一時より滿鐵俱樂部に於て一般官民の互禮會を開催冷酒を揚て聖壽の萬歲を三唱し散會した、此の日支那側よりは商務會總理超漢臣、同協理王俊卿、同議事員二十四名も參列して交驩の意を表した、零時三十分より四平街神社に於て拜賀の式典はいと嚴肅に擧げられた

鐵嶺【鐵嶺特電一日發】修養團員三十餘名の神社參拜の拍手と共に諒闇明けの初春は明けた、軍隊始め各官署小學校においては早朝より拜賀式を行ひ十時半よりは領事館において官民合同の御眞影拜賀式を行ひ、正午よりは公會堂に於て日支官民の互禮會が行はれた、互禮會の參會者邦人三百餘名、中國人五十餘名に及び田中領事と正裝の平知事との音頭にて萬歲を三唱し和氣靄々裡に散會したこの日南風吹きそよぎ稀有の溫暖にて昭和三年の年頭を壽ぐに似て朝來賀客の往來絡繹たる有樣であつた

平和に輝く 滿鮮各地の新春
到る處同胞は唱和し 日支交驩す

奉天【奉天特電一日發】諒闇明け第一の初春は夜の靄奉天城內外を包む頃より零下三十度寒冷骨を刺す夜陰の空氣を衝いて奉天神社さては忠靈塔に詣づる人々引きもきらず東天茜をさせばめでたき今日の元旦は風なき絶好の日本晴軒毎に翻がへる日章旗は積雪に映えて神々しい、この間嬉々として年賀式に急ぐ學童等、年賀に廻る男女を乘せた車馬の往來夥しく正午公會堂にて開かれた奉天官民互禮會は參會者無慮八百名先づ太田地方事務所長の開會の挨拶蜂谷領事の祝辭あり一同乾杯奉天少將の音頭にて天皇陛下萬歲を三唱して散會した、また各學校事務所に於いてもそれ／＼四方拜の式あり午後一時よりは千代田通り松梅軒にて本年第一次の日支官民名刺交換會あり、集まる者二百餘名內田領事中華民國萬歲を唱ふれば安日本科長は東亞民族萬歲を三唱、來會者一同これに唱和し滿堂溢るゝがごとし、街上に行き交ふ日支人もまた「おめでたう」を繰返す等平和の氣漲りわたり日支兩國民渾然として融和するの感があつた、かくて夜に入るも尚廻禮の人々その跡を絶たず歡喜の聲は全市に揚がつた

長春【長春特電二日發】新正を迎へた長春にては各學校に於ける拜賀式をはじめ驛及び地方事務所においても祝賀式が行はれ十時よりは領事館にて御眞影の拜賀式が行はれ、十二時より記念館にて市民の互禮會が行はれ永井領事

昭和維新の達成と我政友會
積極進取の我黨を支持し 現內閣を存續せしめよ

政友會幹事長 秦豐助

戊辰の年、明治元年は、明治維新の首途であつた。昭和三年は恰も亦戊辰の年、諒闇此に明けて、天皇陛下御卽位の大典を擧げさせ給ふ正に昭和維新の首途であると感ずる。

昭和維新——抑も是何を意味するか、明治維新を相繼いで今や六十一年、此の間世界は急激なる變化と發展を遂げつゝあるに、我國は總ての點に於て行き詰り、世界の大勢に應じ時代の潮流に處するの必要を認むるのである。行き詰れる現狀を打開して、新しき局面を展開しなければならぬのである。

明治維新は政治上の一大改革であつた。昭和維新は經濟上に於ける大改革でなければならぬ。我黨の產業立國政策が夫である。明治維新は中央集權であつた。三百諸侯を廢して政權を中央に集中した之れは當時に於ける適當なる改革であつたのである。併し乍ら今日に於ては事態が違ふ。將に中央集權を改め地方分權を行はねばならぬ。我黨の主張は夫である。

我々は、堅き信念を以て產業立國の方針を遂行して、永遠の繁榮を培ひ、地方分權を斷行して、自治體を鞏固にし國家の基礎を安泰ならしめねばならぬ。是れ卽ち昭和維新の實現であつて、我々積極進取、之を實現するの確信を有するものである。之ぞ我政友會に依らなければ出來ない。彼の因循姑息な消極退嬰を事とする民政黨の如きは到底その任に非ざる事は言ふ迄もない。

幸ひに今や我黨內閣あり、現內閣にして存續する限り昭和維新の達成は期して待つ可きである。只夫には明治維新に於ける如き擧國一致的協力を必要とする。それは明治維新に於けるが如き鋼鐵を提げて挺身馳驅を要しない。來る可き總選擧に於て國民が政府政友會に協力支持を表示すれば足るのである。國民が昭和維新の大業に參ずる可き大機は此の外にない。我々は多數國民の必ずや我等に共鳴し我黨に協力する事を望み且つ信ずるものである。」

普選の第一年

民政黨總務 小橋一太

普通選擧の制度は、いよ／＼今春を以て、議政の機關に施行せらるゝこととなる。昭和の三年は此の點において、重大なる意義を有するものである。我國民の政治的素質が、果して普選を運用するに堪ふるか否かは、萬國環視の間にでなければならぬ。予は此の空前なる政局革新の機運に臨んで、我國民が其の初一步を誤らないやう切望せずには居られない。

明治の維新は、明治大帝の稜威に基き、尊王を目的とする、一部愛國の人士によりて、決行せられたものである。昭和の維新は、別に一定の中心力に依賴し難く、國民全體の自覺と努力に因りて、之が完成を求むる外に途がない。予は國民が其の折角與へられたる普選の精神に悖ることなく、完全に參政權を行使するの資格あるかに多少の憂慮なきを得ぬ。

從來の選擧においては、政黨は政治の主動者となり、國民は之れに對して、從屬的立場にあるを常とした。卽ち政黨には恰も封建の領主の如く、傳統的地盤があつて其の選擧人は所屬政黨の附加者となり、甲黨なるが故に、乙黨の善事と雖も之を非議し、乙黨なるが故に甲黨を構陷するに手段を問はず、自己の黨勢擴張の爲めには、黨同伐異を事として、源平時代の角逐にも啻ならぬ私事と憚らなかつたのは、否定すべからざるの事實であつた。政黨の本分は、國家及び政策を本位として行動すべきものである。然らざれば政治の公明なるものは、期待されないこととなる。若夫れ政黨に對する國民の態度としては、正を正とし邪を邪として、其の監視を嚴重にするにあらねばならぬ。之を言ひ換れば、國民自ら主となり、政黨をして從たらしむるの必要ありと云つてよい。所謂政黨界の革新、議會政治の徹底なるものは、斯の如くにして始めて實現さるゝに達ひない。

民政黨の組織は、普選の施行に順應せんとする、本黨及憲政會の時勢に目醒めて、計畫せられたものである。言ひ換ふれば既成政黨の改造ではなく、既成政黨を過去の時代に葬りて、時勢の要求を併行すべき新政黨を創立し、國民の總意の下に、最も公明に最も淸白に、政治の運用を期せんとするに基因する。

普選の第一年は、こゝに新春を迎へたる昭和三年でなければならぬ。皇室の御大禮あるに加へて、政治的にも一大革正の行はるゝのは、國民の慶祝に値し得べきものがある。

中正穩健な飛躍を

關東廳遞信局長 櫻井學

畏くも八紘に遍き皇威の下に、茲に新しき年を迎へたことは、衷心喜悦の情に禁へざる所である。

今年は辰年であるが、辰は飛躍と向上との象徵であるから、日と共に伸びつゝある國運と、年を逐ふて益々發展しつゝある滿洲の狀勢とを、更に一段の高所に向上せしむべき希望に充ち輝いて居る年であると云はなければならぬ。

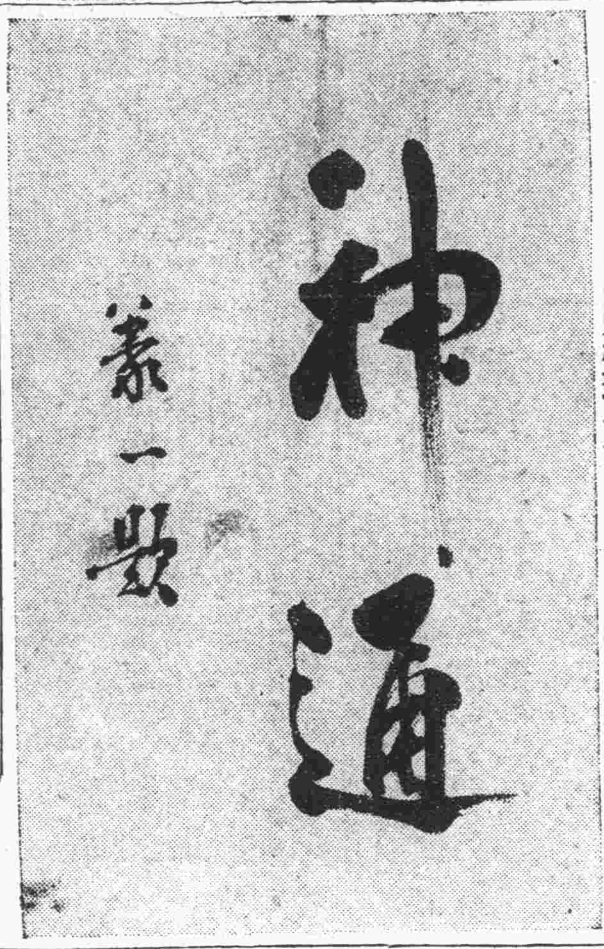
由來、進取積極は我國の國是であるが、同時に又、我國は宇內に冠絶せる國柄であつて、その文化の成立淵由等、極めて深遠なるものが尠くない。從つて、進取と云ひ、飛躍と云ひ、向上と云ふも、所詮は中正穩健なる序次段階を踏むことに依つてのみ、邦家の健全なる發達を期することが出來るのである。我々はこの希望に充ちた新年を迎ふるに際して、中正序に循ひ穩健を踏みつゝ天に翔ける龍の如き氣魄を以て、事業の爲に全力を傾倒したいと考へるのである。

事務を政治的に見 改革を斷行せん
取引所問題には當分手をつけぬ 木下關東長官語る

【門司特電二日發】赴任の途に在る木下關東長官は二日朝下關に來着折柄雪降り頻る關門海峽の風景を快げに眺めながら特に郷里大分縣から出迎への有志十餘名と共に門司に渡り、同地發急行で郷里なる大分縣宇佐郡安心院村に赴き挨拶の上、卽日引返して山陽ホテルに一泊し三日發のバイカル丸で大連に向ふ筈であるが、同氏は「赴任と共に關東廳の職制行政人事等に改革を行ふ考へか何らかとの質問に對し

これまでの長官は政治を事務的に視て居るらしいが、私は事務を政治的に見る積りである。斯樣に見解が異る上は當然何等かの改革を行はねばなるまい、其の內容如何は臨に言明する時期ではない

と答へ、更に「鮮人壓迫問題の對策は愼重に考慮して居る、滿洲の三頭政治とか四頭政治とかの批難は今後起らないであらう、山本滿鐵社長とは親密のなかであるからうまくやれるであらう、大連取引所の民營問題は當分手を附ける考へはない」と語つた



內閣總理大臣 田中義一男題

撫順【撫順特電一日發】諒闇明けの撫順に於ける元旦は最近稀な好天氣で一陽來復の氣頓に漲く今日の佳き日を壽ぐが如く午前十時より撫順神社に於て歲旦祭は行はれ炭礦側より久保次長其他鑛所長、山上實業協會長、中尾警察署長、東守備隊長、地方委員その他官民有志、一般市民參列し式後社務所內の參拜名簿に何れも記名し神酒の頒與を受け同十時退散したが、この日撫順神社の參拜者は終日絕えず絡繹としてゐた、尙中學校、女學校及兩小學校にても御眞影拜賀式を擧げた、守備隊、警察署でもそれ／＼祝賀式を行つた

遼陽【遼陽特電一日發】遼陽の元旦は近年稀なる暖氣に加ふるに天氣晴朗昭和の御代を壽ぐに似たり元旦の式典は朝來各官衙、滿鐵其他各箇所各別に行はれ正午を期し日支官民小學校講堂に於て催され出席者三百餘名に上り司會者助川警察署長の開會の辭に次いで宮地師團長の今日の佳き日を壽ぐ祝詞あり一同杯を擧げて天皇皇后兩陛下の萬歲を三唱したのち參會者は各自新年の挨拶を交換の上散會した

營口【營口特電一日發】當地の新年の拜賀式は午前九時から領事館同十時半から小學校講堂に於て行はれ市民の互禮會は同十時から公會堂に於て行はれたが、久保田地方事務所長の式辭、片桐領事代理發聲の兩陛下萬歲三唱ありて散會した、この日天氣晴朗にして小春日和のごとく來會者多數に上り盛會を極めた

大石橋【大石橋特電一日發】昭和戊辰の新春は靜寂そのもののやうな穩かな中に百八の鐘の音、子の刻を過ぐると共に明けた此の日午前五時神社では奉燈の影ゆらゆらと輝ぐうちに修祓御扉を開き神饌供薦歲旦詞奏上によつて皇室のいや榮と國民の繁榮と國威の伸張を祈り篝火の絕ゆる間なく參詣者相つぎ式終れば曉て東天紅に昭和維新の旭輝る小學校では午前九時拜賀式を擧げ各官廳何れも拜賀式を行ひ市民は日中人共靉々裡に午前十一時祝賀式場たる公會堂に參集し帝國の萬歲と共に乾杯し、附屬地內に住む支人は日章旗をたて祝詞を呈して代表、有力者を歷訪して賀意を述べ中國側諸官民亦同じく各個所を挨拶し隔意なき盃を重ね昔ながら大石橋特有の親善振を發揮した、市中の松飾りも殊の外生々と新春の賀標に用ゐられしを喜ぶ樣である

熊岳城【熊岳城特電一日發】諒闇明け第一の新年は極めて溫暖春の如く目出たい元旦であつた、邦人側は勿論華人側の家々にも日支兩國旗は揭げられ午前十時より小學校に於て拜賀式を行ひ、次いで滿鐵俱樂部大廣間において全在住民の盛大なる名刺交換會が行はれた、今回は特に華人側にも區長、地方委員を始め多數有志の參加あり、戸別廻禮する支人の姿もあちこちに見受けられた

瓦房店【瓦房店特電一日發】諒闇明けの元旦拜賀式は守備隊、警察、地方事務所、郵便局其他各所において夫々午前九時に行はれた九時半よりは小學校において官民の拜賀式あり更に十時よりは神社に於て遙拜式を行ひたる後同十一時公會堂に於て盛大な祝賀會を擧げ一同乾盃して陛下の萬歲を三唱聖壽の無窮を謳歌した

京城【京城特電一日發】京城の元旦は風もなく麗らかに輝き亘り數日前降りつめた白銀の世界に反映して一入ののどかさを見せた、總督府にては例年と異り今年は廳舍第一會議室にて總督の受賀が行はれ午前十一時四十分より支那總領事王守善副領事萬壽雨氏が外國使臣として賀詞をのべ零時三十分よりは公會堂において官民一同の名刺交換會が開かれた、同會には支那領事館員も參列した、なほ支那領事館は商總會長馬秀臣副會長張鳴海その他內鮮人の年賀客にて賑はひ一時傳へられた不穩の氣分もなく支那町にも平和の氣漲り終日內鮮人の交驩が到る處に行はれた

滿洲里【滿洲里特電一日發】滿洲里に於ける諒闇明けの元旦は天氣快晴零下二十度稀らしく暖かし、午前十時領事館にて遙拜式あり小學兒童も始めて參列當地支那側主腦者は田中領事を訪ひ祝意を表した

青島【青島特電一日發】白雪に蔽はれた青島の元旦は日の出と共に希望に輝き淨化された青島神社の雪景色は一層の嚴肅を加へ參詣者朝來引も切らず、總領事館では午前十時半より御眞影拜賀式を行ひ正午からは民團において互禮會を行つたが參會者一千餘名に上り兩陛下及び帝國の萬歲を三唱し冷酒を酌み交して散會した

各閣僚の大馬力で 野黨切崩功を奏す
今議會の切り拔けを豫想して 某閣僚の樂觀談

【東京二日發電】政府は今議會をなるべく無事に切り拔けたいとの方針の下に田中首相はじめ各關係政務官與黨幹部等は手分けして各方面に渡りをつけ在野黨の切り崩しに馬力をかけてゐるが、最近に至り政府も漸く今議會を先づ何とか切り拔けることが出來さうだとの自信を得たもの如く、某閣僚の如きも議會はどうにか解散なくして濟みさうだとホツト一息の態で左の如く語つた

現在議會の形勢は民政派二百二十名、政友派百八十九名で野黨聯盟は新正俱樂部の二十七名を加へて二百四十七名となりその開きは五十八名の多數に上る、而してこれは

表面の 數で、事實は新正俱樂部二十七名の內より愈々民政黨と政府不信任の最後まで行動を共にするものは革新系の大部分と中正派の至極小部分で僅か十名內外に過ぎず、他の多數は不信任案反對の意向であるのみならず、野黨聯盟急先鋒と見られてゐた新正俱樂部の湯淺凡平氏の如き表面は强いことをいつてゐるが、不信任案提出にはこれが一番賴りないと同時に心配されてゐるといふのである而して自ら今議會のキヤツチングボートを握つてゐると稱する實業同志會の人々も野黨聯盟參加を拒絶することに

決定し 民政黨の不信任案に反對の意向であると聽いてゐる、なほ殘る無所屬團の十六名中には二、三民政黨と同一手段を採るものもあるやうだが、大多數は既に政府と諒解があるので、これ等の總計を比較すれば在野黨との差は僅かに二十八九名であるが、その內民政黨側で病氣その他の事情で今議會中出席不可能のものが四、五名ありてギリ／＼の差はホンノ三、四名に過ぎぬ、ところがこれは單に現在の

狀態で あつて今後民政黨內にどんな分解作用が起らぬにも限らず既に機會は熟してゐると果して政府が樂觀する樣に四圍の形勢が順調に進むかどうかは不明である

支那駐屯軍を增加しやう

【東京二日發電】目下北京天津方面にある支那駐屯軍は步兵八個中隊及び電信鐵道兩隊各一個中隊弱で合計約一千八百名であり、內步兵二個中隊電信鐵道兩隊は臨時部隊であるが恆久的にこれだけの部隊が

京津方面 に駐屯せば同方面の警備には充分であるのみならず、場合に依つては一時的に他方面にも分配し得る關係上、今回の如く山東方面に於ける我居留民保護の必要を生じた場合に於ても、必ずしも內地より出兵するといふが如き大袈裟な處置を採る必要もなくなるとの見地に基き、右臨時部隊を他の

五個中隊 と同樣恆久的部隊に引き直して支那駐屯軍を現駐屯部隊と同樣約千八百名に增加すべくその議が關係各當局の間に起り、目下支那駐屯軍司令部その他と連絡して協議研究中である

人事

▲小林絹治氏(滿鐵東京支社庶務課長)卅一日來連ヤマトホテル滯在中

▲大關敬三氏(時事新報記者)同上

大觀小觀

◇筆硯を改めて諸彥に見ゆるに當り、恭しく各位の繁榮と健康とを祝す。

◇聖德八紘に輝き、興隆の氣、我國內に溢る。殊に中華の擧國動亂の渦中に、東三省の地ひとり安泰、日華民平和を怡樂す。

◇我皇の稜威と、國力の然らしむる所にあらずして何ぞや。

◇但し、今年の多事、今より想察に餘りあり。須らく同志討ちを避け、相戮力して難關を突破し、國策の遂行に努むるを要す。

◇事務の政治化を標榜して、新長官、州政の改革を仄かす。

◇いかもの料理の庖丁の冴えを見せて、速かに亂麻を斷て。

大連 天氣豫報

三日(晴れ) 北西の風

概況と豫想 昨日來東蒙古から東進中であつた大陸低氣壓は既に樺太方面に遠り北支那には高氣壓擡頭し七七〇粍を示して居る日本海には七五二粍の低氣壓が徐々東進中で爾見崎沖には小さな副低氣壓を伴ひ內地方面の天氣は曇り勝で所に依り雨又は雪を催して居るが滿鮮地方は大體良好である、大陸高氣壓の主部は次第に南下の傾向あるも大した變化もなからう附近の天氣は概ね好晴を保つ見込み

各地の溫度
(大連觀測所發表)

	午前五時	午前十一時
◇大連	零下六、八	零下九、二
◇旅順	零下五、八	零下五、六
◇營口	零下一三、六	零下一二、八
◇奉天	零下一八、三	零下一四、五
◇長春	零下二〇、四	零下一九、六

製造元 福泰公司
發賣元 山葉洋行

お待兼の…正月新譜

滿洲唱歌 星ケ浦 增田のぶ子 / 露西亞町波止場 園山民平
滿洲唱歌 蒙古の旅 增田のぶ子 / 枯木原 園山民平
童謠 夕やけ小やけ 東京少女歌劇 谷崎歲子 / あの町この町 音樂部員
童謠 春の宵 田村豊子 / テープノ唄 同 音樂部員
俚謠 安來節 大連檢番 お笑 / 關の五本松 松六
俚謠 鴨綠江節 同 一松 / うそとまこと 關六
俚謠 鴨綠江節 勇漢 福助 / ヨイショコショ 三好 お雪
端唄 びんほつ 大連檢番 一勝 松六 / 二上り新內 一菊
端唄 重ね扇 同 一勝 / 月夜鴉 松吉
端唄 晴れし雲間 快樂 お妻 お新 / 追分くずし 音千代
流行唄 國境警備 大連檢番 一菊 / ノンキ節 一彌
ヴァイオリン獨奏 春雨 石村松雨 / 夕暮 柳家三津次
同 追分(詩入) 石村松雨 / 磯節 柳家三津次
長唄 越後獅子 快樂 杵屋六紫 / 音千代
ハーモニカ 輕騎兵 鈴木信 / 小幡四郎
浪花節 竹川森太郎 東家燕左衛門
落語 かつぎや 三升家小勝
義太夫 三十三間堂 竹本美朝 / 壺坂寺 豊竹巴仕
其他數十種
▲お買上げは各蓄音器店にて……

獅子印レコード

市中を練り廻る飾り立てた初荷

＝各商店が馬車を列ねて辰の歳を迎へ活氣漲る＝ けさ景氣よく積出す

諒闇あけ第一年の正月を迎へた大連市中は哀愁の一年があけたといふ晴れやかさがある、廻禮の人影も戸ごとにはためく日の丸の旗、景氣よく商店旗を飾り立てた初荷の行列も何となく辰年を迎へた活氣が漲つてゐる、昨年の初荷の状況は諒闇のため御遠慮の人氣が纏ゆる商品のすみ〲にまで喰ひ入つて、儀式的に形ばかりの初荷が行はれたにすぎなかつたが、今年は諒闇あけの景氣つけに市中主なる商店が競つて初荷を積み出し早朝から京和洋行、拓茂洋行、大連醬油、中村商店などの初荷が十數臺の馬車を列ねて景氣よく市中を練り廻る、國際運輸では埠頭の船から陸揚げした荷物を數臺の自動車に積んで練り廻るなど、市中到る處初荷の行列で景氣を添へる、初荷の集散場である第二ホームには午前十一時頃までに約三十車からの奧地ゆきの初荷が到着し、係員は昨年の無聊に引かへて今年は幾分忙しさうだ

參拜人で渦巻く大連神社の初詣の賑ひとけさのはつ荷

和やかな街に廻禮の人影

花柳界も活氣立つて 市内は何處も人の波

底の拔けたやうに晴れ渡つた新春の空、戸ごとに立てられた門松、はためく日の丸の旗、すべてがこの日にふさはしい和やかさである 諒闇あけのお正月を迎へた大連市中は元旦も二日も廻禮の人影で賑はしい、ことに元旦は珍しい惠まれた初春日和に道ゆく人々もお屠蘇に顏を染め、街上では嬢ちゃん方が羽子突きに戯れてゐる情景は流石諒闇あけの平和なお正月である、二日は景氣直しの初荷の行列で辰年の新年にふさはしい活氣を添へた、花柳界方面も今年は昨年に比べて景氣よく、演藝方面では何れの劇場も大々的の宣傳に人氣を呼んで大入滿員の素晴らしさ、市內十數軒のタクシー會社は手も廻り切らぬといふ多忙を極めてゐる、かくて諒闇あけのお正月はこの日にふさはしい和やかさのうちに靜かに暮れて行つた

拍手神々しく初詣の賑ひ

小春日和に惠まれて淨域を埋めた參拜人

元旦は珍しい暖かさに惠まれて小暗いうちから大連神社には初詣りの參拜人で渦をまいた、めでたい諒闇明けのお正月を壽ぐ拍手があちこちに鳴り響いて、社殿には神々しい氣が流れ、昭和新政の輝かしい大御代がこゝから初まるの思ひがある、また先帝の大悲に諒闇のうちにお正月を迎へた痛ましい昨年の記憶をよみがへらし、帝都を遙拜して御聖德をしのび奉る人々も見うけられ、諒闇あけの初詣は混雜の中にもをかし難い靜粛さがある、鳥居前には馬車、自動車、人力車などが長蛇の列を作つて大混雜を呈し、境內の出店は押潰されそうな人出である、午後からはいよ〱惠まれた初春日和となり老人、子供の參詣人で引も切らない賑はひである、社務所では元日は諒闇あけといふので昨年より參拜者が多く約二萬數千人、お賽錢は一千二百圓位もあつたが今年は千五百圓の擧高がありましたと語つてゐる、二日は稍寒氣が加はつた爲か元旦に比べて參拜者の足も鈍つたがそれでも午後から普通祭日くらゐの參拜者があり相當賑ひを見せた

廓の酒に喧嘩傷害や檢束騷ぎ

忙しい逢坂町派出所

元日の午後から二日の拂曉まで逢坂町遊廓は絃歌さんざめき紅燈に亂舞する人々の群は素晴らしい數に達してゐたが、廓の酒につきもの喧嘩が廓內隨所において演ぜられ同所派出所警官は新年匆々喧嘩成敗に忙殺されてゐた、その結果傷害を與へた三名の外檢束七八件に及び何れも係官の說諭を受け酒の醉も何處へやら悄々と引退つた

元日に引換へけふの寒さ

最低氣溫は零下九度 昨年に較べて十二度も低い

諒闇明け第一春の元旦は大連としては近年にない暖かさ、瑞光滿街に年始回禮、神社參拜の人々は惠まれたこの日を喜び合つてゐた位であつたのに引くらべて同夜から俄に酷寒襲來二日朝にいたり十時頃より新春の麗光やうやく射しはじめたのに拘らず氣溫は依然として下降し元旦の廻禮に無精した人々は前日の暖氣に解けた氷が更に凍てついた道路の步行に危い足どりを見せながら屠蘇の醉ひと寒さとに頰から手足を眞赤に染めてゐるのも今年に入つての奇觀であつた 右について大連觀測所員は語る

二日に入つて急に寒冷を增したのは元日まで低迷してゐた淺薄な低氣壓が消えて北滿一帶に有力な高氣壓が現はれ著しくこれが發達してきたのによるもので二日の氣溫は昨年の同日に比べると零度以上三度六であつたのに對して本年の二日は零下九度でこの寒暖の差十二度以上あり、殊に昨年は暖い日和が年內より續いてゐたのに本年は元日の溫暖を除いては年末より引續き寒氣が續いたので一層寒さを感じたので目下停滯してゐる高氣壓が南東に去らぬ限り向二三日は寒さが續くものと見るべきである

東京の强震

時計の振子止る

【東京一日發電】諒闇明け最初の元日に東京市民は晴やかな氣分で屠蘇の祝酒に浸つて居る折も折、午後四時十八分頃突如相當强震に見舞はれた、何れも吃驚り戸外に飛出した、時計は殆ど振子が止まつた、なほ甲府、靜岡宇都宮地方にも感じた

日本郵船の鹿島丸離礁

船體を檢査

【ロンドン一日發電】テイムス河バーキング河上で坐礁した日本郵船會社鹿島丸は三十一日夕頃に至り離礁し、日本に向け航行を繼續する前に船體を檢査すべくグレーヴスエントに向つた

白根山大噴火

利根川の魚斃死

【前橋一日發電】三十一日午前十一時頃群馬縣吾妻郡白根山が突如噴火し頻に粟粒大の降灰があり、吾妻川には硫黃を押流した爲下流の利根川は水が眞白となつた、一日朝に至るも噴煙し、利根川の魚類は斃死し浮びよるもの數を知らない有樣である、なほ噴火口附近は目下七尺の積雪がある山麓草津の町民は戰々恟々としてゐる

佛國側の正式回答に愈よ競技會決定す

活氣附て來た日本側の準備 總裁に文相を推戴せん

【東京特電二日發】日本對佛國の陸上競技開催に關し全日本陸上競技聯盟では在佛日本大使館の手を通じて去る二十三日佛蘭西競技聯盟會事務所に對し正式申込をなせるところ佛國側に於ては二十八日夜直に佛國陸上競技聯盟の總會を開き三十一日附我外務省に向つて佛國は欣然日本側の招待に應ずる旨の正式回答を電達して來たが、此の詳細については、後日協議する事となつた此のため日佛の競技會はいよ〱正式の決定を見るに至つたわけであるが、尚日本學生陸上競技聯合會はこの機會に於て會長山岡愼一氏を全日本陸上競技聯盟會は岡部平太氏を夫々代表として全日本の對外交涉團體たる大日本體育協會の諒解賛同を求むる外、日佛協會文部省外務省等の夫々關係方面を訪問の上從來の經過を報告し旁その援助を仰ぐ事となり、さしあたり文部大臣を同競技會の總裁に推戴する運動を開始し佛國側の希望細目期日はおつて佛國から通告あるはずである

細目協定に岡部氏渡佛

【東京特電二日發】日佛の陸上競技會開催に關し細目の協議をとげるため岡部平太氏は近く渡佛する豫定である

不老長壽論（二）

古今長壽の研究

醫學博士 高野六郎

長壽の重要なことは今に始まつたことではない、古今東西にわたつて種々の研究がある何處の國でも神や佛は無限の生命を具備してゐるやうだが、之は人間を超越してしまつたものだから別として、支那の仙人の如きは、特別な工夫によつて頗る長生をしたものらしい、仙藥を調合するとか、仙木の果實を喰ふとかして、或は又霞を喰ひ露を飲むと云つた風な特別の榮養法によつて、長生の域に到つたものと思はれる、しかし若仙人が實在するものなら、現代の醫學は之を實驗模倣して**長命注射藥**でも發見することであるが、もと〱架空のもので近來は仙人を見ないこと妖怪同樣である、仙舟や仙果は、支那太古の天使達の、一萬八千歲と同樣で、單に面白い空想を考へるより外にないが現代の醫學が發達してからは、科學的基礎の上から長命法を研究するやうになつた、一例を擧げると、獨逸の有名な學者、フーフエランドといふ名醫が「長生學」といふ本を出した その要項としては、生活力の增加、器管の强固、生活力の消費節約、生活力の恢復の四點を擧げてゐる 次に有名なのは**メチニコフ**氏の學說で、それによると人體の腸內には不必要有害な細菌が澤山ゐて、食物を分解し、不必要かつ有害な化學的成分を作る、之が即ち老廢の原因を釀すのだから適當の方法で腸管を清めれば老衰の原因が除かれるといふ說である、では如何して腸の洗滌をするかといふと、メチニコフの考へは簡單で、乳酸菌といふ一種の細菌を呑めばこの乳酸菌が他の有害菌を驅逐し、食物の異常分解が起らないといふ。是はブルガリヤ人の食物の主要部が牛乳製品であつて、その中には多數の乳酸菌があるのと**ブルガリヤ**には長生の人が多い點から思ひ付いたので日本でも「ヨーグルト」などといつて、酸味を帶びた固まつた牛乳を飲み又醫藥としても乳酸菌を消化不良患者に使用してゐる、しかし胃腸を整へる上には一理ある說ではあるが、乳酸菌のみで屹度長生するといふことは出來ない、最近ではスタイナツハの若返り法といふのが一時世上の問題になつてゐたが、彼の**若返り手術**といふのは、精系をとつて精液の體外へ出るのを妨げ、その刺戟によつて睪丸の內分泌を盛にし、身體諸器管の活動を促すといふ方法であるが要するに生理的變態に陷らせて一種の自己刺戟を起さすに過ぎないのだから、その效果はあまり多くを期待することは出來ない。

珍案お酒の放送

月の家鏡丸演 （村田欣二畫）

中

若『所で、本當に最うさんな事があつても、酒は吞まないかい』茶『それは大丈夫、私が保證いたしました』若『それぢやア若しこゝにたね、變なかはり者のお客があつてだ、お前に困るだらうから金を貸して遣らう、その代りに一杯吞めと言はれたらどうする』茶『斷りますナ、お志しは有難う存じますが、お酒は頂きませんと』若『感心たナ、それは』茶『第一向ふの文句が氣に入りませんからナ、貸して遣るから吞めなんて、借りた所で返す的がありません。その代りに只お金を遣ると言ふのでしたら、ガブ〱飲ります』若『何だ、それぢやア禁酒したとは言はれないぞ』茶『さうか一つ御勘辨を願ひます、時に若旦那、相變らず今日も御勉强ですな、オヤツ、お客さまでございますか』若『イヤ、今夜は私が留守番を仰せ付かつてね、家中誰もゐない。お客なんざアゐないよ』茶『それでも次の間から話し聲が聞えてまゐりますよ、何方かお在でなんでせう』若『ア、あれか、あれは人がゐるんぢやアない、變なと思つたら覗いて見るが宜い』茶『何だか氣味が惡うございますね』若『何にもない事を言ひなさんナ覗いて見るが宜い』茶『これ〱一つ拜見しませう。どうか若旦那其處にゐて下さい。イザと言へば逃げるか、腰を拔かすかと言ふ所で……』若『馬鹿たね、この男は』茶『オヤ〱、なアる程、仰しやる通り誰も居りませんね、だが然し、確かに聲が致しますよ、不思議たなア、聲はすれども姿は見えず、ホンにお前は何さやら……アッ判つた、變でも不思議でも何でもない、若旦那も人が惡い。あれは蓄音器が仕掛けてあるんでせう』若『お前も人間が遅れてゐるナ、あれは蓄音器ぢやアないよ』茶『それでも、此處にラッパがありますよ』若『ラッパがあつても蓄音器とはちがふ、これはラヂオだよ』茶『へツ、知らないと思つてラヂオただんて、家の近所にもラヂオならありますが、家主さん所の子供が、手拵へたとか申しましてね、一人で喜んで聞いてゐましたが、何だか變な物を耳へ當てがつてゐましたぜ』若『それは組立ての簡單な方だらう、クリスタルだよ』茶『さうも薄情ですナ』若『さうして』茶『振り捨るたなんて』若『振り捨るぢやアない、クリスタルと言ふんだ。

若『鑛石の放送でふ』茶『なアる程、役者の聲色で』若『そんな物ぢやアない。鑛石では種々今研究してゐる人もあるが、どうしてもラッパを鳴らすと言ふ所までは行かないさうだ、やつぱりレシーバーを使ふ他はないね』茶『何處でげすえ、それは』若『何が……』茶『レシーバアーとか言ふバアーは』若『馬鹿だねお前は、レシーバーと言ふのは、耳に當る受話器の事だ』茶『アヽ、男伊達が助けますか』若『さうして』茶『弱きを助け、强きを挫くと』若『弱きぢやアない、受話器だ』茶『このラッパのある方は何と申しやす』若『ラッパでも判るが、ラッパと言ふよりも、本式に言へばラウドスピーカーと言ふナ』茶『へ、難かしくなりましたね』若『この方は鑛石檢波式と言つてね、裝置もかゝるし、一寸設備も高くなるよ』茶『厄介なもんですね』若『然らない遠路を言ふナ、眞空管にも種々ある、それで種類があつて、私の所のは三球式だが、ランプが一つのを一球と言ふね』茶『あれは大した坊さんだと言ふ事で』若『それは一休和尙の事だ、三つあるのを三球と言ふ』茶『ベルマッチとはどういたしましてと言ふんださうで』若『まぜッかへしちやアいけない。四つあるのが四球だ』茶『ア、婦人の病氣で』若『馬鹿野郎、一々混ッ返してゐる』茶『時に、何か頻りに喋つてゐますが、何ですねあれは』若『今は丁度講演だよ、今夜は寄席の夕べと言ふ趣向でね、先づ第一が今お話中の池田博士の色物に就ての講演だ』茶『オヤ〱、最うお終ひになりましたね、あとは誰が出ます』若『今度は演藝放送だ、今夜は一粒選りの名人はかりさ、如燕、伯知、貞山などと言ふ講談の大家圓遊、圓左、燕橘なぞと言ふ落語家、それから藝妓も出るが、皆んな名人達はかりたね、まア用もなけれは悠くり聞いてお出で、私は一寸湯に行つて來るから』

元旦書懷

黄越川

戊辰今日是元辰、斗柄回旋又一春、擾攘幾經新祖國、昇平只有讓東隣、年年逐鹿提三尺、處處哀鴻苦四民、最惜邦家明哲士、半逃禪界半逃秦

遺意

黄越川

我愛隨園悲壯句、被天强派作詩人、却從紅紛逢知己、莫對倉皇歎不辰、何遜宦情原淡泊、虞翻骨相太遭迍、年來嗜好除將盡、只賸貪魚娛此身

元旦感言

王健堂

其一

夜來飛絮滿庭前、作客遼東又一年、半世升沈如幻夢、連宵風雪尙安眠、恨無靈劍除奸佞、空寄浮生在市廛、太息韶華容易逝、[illegible]齊極目散榆錢

其二

臘鼓鼕鼕百感生、竹簾風動響淒淸、身雖遠旅心常泰、事到難關念轉平、庾嶺寒梅春早占、中原烽火客頻驚、劇憐萬里萱幃隔、午夜如聞謦咳聲

其三

頻年履險慶如夷、冷煖而今只自和、苦境都隨殘臘去、佳音快與早春馳、萬家爭飲屠蘇酒、百鳥齊吟卒歲詩、覓遍梅花多少樹、押來好折最高枝

戊辰元旦書懷

石本桂窓

壯心落落築離休、賣馬買船南北州、四十六年邊塞客、夢過六十四春秋

自註 遊中國已經四十六年、齡加六十四歲偶然有此詩

戊辰元旦

楊橐吾

建子元辰春尙遲、遼東況復厲邊陲、却將藥石療羸緒、伴呂紅梅花一枝

戊辰元旦試製

吉川鐵華

曉雞喔喔歲星巡、起向東方拜紫宸、乾德坤元交穆穆、金枝玉葉日振振、千門萬戶旭旗颺、近畿遙翻瑞色新、無限大恩遍邊土、茅廬又醉太平春

謹賀新年

昭和二年中極めて深き御愛顧を賜りましたことを厚く御禮申上ます茲に新たなる年を迎へますと共に猶一層總ての點に細心の注意を致し極力改善の實を擧げ以て御滿足を願ひ厚き御眷顧に酬ゆる樣かたく期して居りますどうか此上とも彌增しての御引立を御願ひ申上ます

和洋雜貨をはじめ歐米化粧品類の豐富なること大連第一

浪速町の 浪華洋行 電話代表五一七九番

賀正

舊年中は格別の御引立に預り御厚禮申上候尙本年も層一層の御愛顧奉願上候

舊冬賣出中は人員不足の折柄萬事不行屆勝にて何とも申譯無御座候甚だ略儀にては候へ共紙上を以て右御詫申上候

昭和三年一月一日

大連市浪速町 岩倉洋行 一同

謹賀新年

大連市山縣通 東亞土木企業株式會社 電話八五七六

社長 町野武馬

專務取締役 津田元吉

一月元旦より……十五日まで 初春の御寫眞は是非弊館

寫眞大割引

大連市浪速町三丁目（辻利商品館二階） すみれ寫眞館 電話四七七六番

現代的酒場 クロネコ

岩代町磐城町角 電話三二九八番

傑出せる名作

日活特作映畫……阿部豐監督

岡田時彥・夏川靜江・浦部粂子主演

絕世の名著イプセンの「人形の家」にヒントを得て製作せる名篇

人形の家

―笑の大王―

彌次喜多滿蒙軍の卷

パラマウント大映畫

ウオレスビアリー レイモンドハツトン主演

解說―新井孝童、岩崎一彥

滿鐵協和會館に於て

一月二日より毎日晝夜二回（晝十二時 夜六時開館）

一月五日まで四日間限り

浪速館

短篇小説 三等當選

盜人

瀧 閑村

東平は竹鋸を腰にぶら下げて家を出た。物干竿にする竹を一本盜みに行くのであつた。鉈では切る音がすると云ふ細心の注意で鋸を持つて行くことにした。庭先の垣根に添つて曲がらうとする時、

「なるべく眞直ないゝのを切つて來てお呉れ」と母親がつけ加へた。

どこの家でももう灯がついて野良には人影は見えなかつた。三四寸に伸びた麥の上を、しのぶ樣な夕風がそつとなでてゐた。いゝ事には自分の家のすぐ前から山の手の方へ小川があつて、その土手の向ふ側に沿つて行けば、山の手まで二三町で家はなかつた。それでもあたりに氣を配り乍ら段々山の手へ近づいて行つた。

麥田を拔けると少しばかりの茶畑がある。それを拔けると小山があつた。その向ふは直に大きな藪である。東平は立止まつてあたりを見廻したが、誰も來ないのに安心して、藪の中へ踏み込んだ。ガサガサと落葉の音がした。氣をつけても〳〵音がするのだつた。藪の中はもう夜の帳りが濃くひろがつて、ひつそりと靜まり返つてゐた。

東平は適當な一本を選んで、それを切るべく腰をかゞめた。流石に氣が咎めた—自分は立派な泥棒だ」とはつきり意識されたのである。かうしてまで家内の者の意を迎へて暮して行かねばならぬ自分の女房の美貌に強い執着を感じてゐる自分の姿を、淺ましいとも憐れとも思はれた。

東平が今の家へ聟に入つてからもう三年になつてゐた。東平は豫備歩兵上等兵で、青島戰爭に參加して、多額の賜金を下賜された名譽の軍人であつた。女房のお朝は村で評判の美人で、二人が一緖になるについては火の樣な戀があつた。東平は生家にゐる頃には、正直で働き者であつた。それがお朝のもとへ養子してから、二三の惡い噂さへ立つ樣になつた。

「正直な東平さんでもあの家へ行つたぢやなあ」

「さうだつてな、正直でゐた日にやあ離緣されちやわあ」などと村人は云つてゐた。事實彼の犯罪は周圍の環境によつてさうさせられるのだつた。

東平には女房に別れると云ふ事は何物にも代へ難い苦痛なのだ、たとへ罪を犯してまでも。

女房の美貌の前には、すつかり蠱惑されて、事の曲直を判斷する力も、まつたく消滅させられてしまふ自分であつた。

それがいけない、と自分でも思ふけれどもどうする事も出來ないのだつた。

東平は注意深く鋸を動かし始めたズーズーと微かな音が立つた。それが妙に腦天へひゞくのである。ガサ〳〵と葉が搖れ出した、いゝ工合に梢が混み合つてゐるので、根を切り離しても一度に倒れはしなかつた、注意深く徐々に手繰る樣にして竹を地べたへ横たへた。

竹を肩にして東平が藪を出やうとする時、だしぬけに鳥が舞ひ立つた、暗い中にもくつきりと黑く一羽の鳥が竹の梢を突つ切つた。

「びつくりしたぜ」とつぶやく途端「あつ」と思はず叫んで、東平は倒れる樣に地べたへかがんだ。竹の切株が足の裏へ刺さつたので、指の先から頭の天邊まで、しびれる程の痛さだつた。

「チエツいま〳〵しい」と草鞋を解いて傷所を見ると餘程の深い傷らしかつた。夕闇でよく分らないが、濃い血がとめどもなく湧き出て足袋の底をぬらしてゐた。

東平は手拭をビリ〳〵と裂いて幾重にも卷いた、足が太つたので足袋がはけなかつた。

東平は暗い氣持になつた。

「天罰」だと心の奧で叫ぶものがある、善良な先天的に彼に備つてゐる心の中のあるものがグツと呼び返されたのを感じた、いろ〳〵の考へが頭の中でこんがらがつた その中に女房の美しい顏が浮いた消さうとしても。

やつぱり俺は女房に惚れすぎてゐる。それがいけない。俺の力が弱いのだ、正しい俺の力で押切てしまへばいゝのだ。それが不可能なら、危ふい淵から自分の身を退くまでの事だ。

しかし、俺は淋しい。どうすればいゝのだ。

東平は心の中から押上げてくる深い淋しみを、何うする事も出來なかつた。

龍に因んだ滿蒙の名勝古蹟（上）

（一）奉天省

龍虎山 一名塔山と言ひ奉天城南五十支里の地點にある、東西五峰、西に面した第一峰に塔があり唐の太宗時代の建築である

興龍寺 奉天城の東南三十支里の地に在つて淸の太祖が明を討つた時皇后が此の寺に駐蹕したことで有名である

龍王廟 奉天城の西六十支里、その建築は何れの時代のものか不明であるが「霖雨蒼生、尉遲敬德敬書」と記した三大字の扁額がある所から唐代以前の古刹として四時參拜者が絕へない

龍首山 鐵嶺縣の東一里許り、唐時代此山に王氣があつたのでこれを龍首に鎭めたとの傳說があり山中に三清觀といふ廟がある

黃龍崗 開原城の北約五六支里のところに二十五六支里に亘つた崗あり其土が特に黃ろく形が龍に似て居るところから黃龍崗と名づけてゐるが宋代の勇將岳飛が此の地に金の軍を破つたといふので史上に有名である

臥龍潭 開原驛の東南約四十里のところに小山があり、山下に池があり山上に泉があつて飛瀑直下壯觀を呈してゐる

九龍泉 開原より五里ばかり、靈泉があつて瀧をなし頗る美觀を以て聞こえてゐる

龍岡石塔 開原北岡の起伏したところで古色蒼然たる石塔がある

鎭龍樁 開原南街和市胡同の南入口に一つの石臼がある、曾て同地に蛟龍があつて祟りをなしたのを此臼に封じたといふ傳說がある

龍坑 遼陽縣の東二十支里の地に龍王頂山があり山上に七十二個の水坑があり昔はこれから滾々として水が流れ出たものであつたが龍が坑中の水を全部絞つて上天したので今は水が涸れたとの傳說がある

龍伏嶺古刹 遼陽城南二十支里の龍伏嶺には山麓に龍伏寺といふ古刹がある唐代尉遲敬德の建立に係るといはれてゐる

龍潭石城 蓋平縣城の南九十支里に帽兒山があつて一郡の鎭守山とされてゐるが山の下に三つの池があり唐の太宗が高麗を征伐した時この地に石城を築き池を掘つて飲料としたと傳へられ池を龍潭と稱してゐる

盤龍白鶴 蓋平縣の東南三十支里に盤龍山古雲寺がある 古白鶴茶といふ銘茶を產したといふ記錄があるが今其茶樹は何れに在るか判らない

龍灣 蓋平縣の東南十支里ばかり土山があつて蜿蜒龍の起伏してゐるかのやうな形をなしてゐる

石龍山古城 海城の西南六十支里に在り周圍四支里の城跡が遺つてゐる

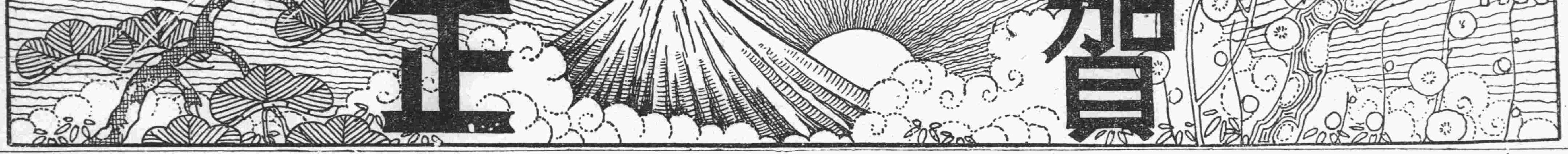
猪龍山老塔寺 海城縣の北にあつて金時代の建築である

龍鳳寺 錦縣の東六十支里、山の南腹に古寺があり龍鳳山龍鳳寺といふ

大龍灣 黑山縣の東北に一里餘に亘る崗があり其形が龍に似てゐるとてこの名がある

龍潭 北鎭縣の醫巫閭山中に在つて水深僅に三尺ばかりに過ぎないが色の美しいことで有名である

老龍頭 綏中縣の東南三支里に古墳がある吳三桂の塚と云ひ傳へられてゐるが土人は老龍頭と呼んでゐる



撫順（イロハ順）

撫順炭坑
山西恒郎
久保孚
岡村金藏
國松綠
伊東直
中野忠夫
大垣研
渡邊寬一
郡新一郎
今泉卯吉
大橋頴三
佐藤應二郎
坂口兌
前島吳一
志岐武一郎
高畑信三郎
平石榮一郎
瀨戶辰五郎

中尾大次郎

草野友次郎

後藤基次

飯田博

小野求太郎

田中幸英

田中廣吉

平尾關太郎

古賀初市

撫順地方委員
山上吉藏　酒井肇
棟久藏　後藤愛助
蜂谷文平　桒村松二
野水郡太　高山信吉
寺西圭之　古賀初一
岡雄一郎　松井佐兵衛
土方義正　池島周藏
廣吉辰雄　飛島井埼他郎

撫順地方醫師會（イロハ順）
長岡齒科醫院
中島齒科醫院
柳瀨病院
山路齒科醫院
松井醫院
天生病院
淺田病院

電燈照明器具
電氣器具
並材料一切
電鈴工事請負
秋山式文化ペチカ撫順代理店
今井商會
撫順東三條通り四五 電話（?）四〇八番

中央大街五條停留所前
蒲團用羽類 西洋水羽羽壹武等 日本羽參等 炭坑指定
和泉吳服店 電話（五）一二一九番

原田靴鞄店 電話三九二番

炭坑指定 洗布所
大谷商會
山羊乳
大谷牧場部 電話二九二番

土木建築請負業
神田工務所 電話一九七番

新舶來貨
前田洋行 電話二二〇番

附屬品一式
長門屋 電話四四〇番

富澤寫眞館 本町 二一八番

貴金屬時計商
石原洋行 電話七番

船橋洋服店 永安大街

菓子商 花月堂
橫內由十 撫順新町四 電話（?）一二一番

滿洲土木建築業組合撫順支部
三田工務所 電話三五一番　矢野組 電話三七二番　田中商會 電話一二一番
長谷川組 電話四〇一番　高岡工務所 電話七八番　細川組 電話二一番
坂本組 電話二六三番　後藤工務所 電話一六三番　吉川組 電話一三二番
村松組 電話二七〇番　大倉組 電話一六八番　神田工務所 電話一九七番
飛鳥井組 電話一六二番　伊賀原組 電話一四六番　上木組 電話三五〇番

撫順純料理店組合

撫順料理店組合
濱美家　新高亭　蓬萊館　近江亭　右左滿　山田館　丸八樓　旭館　山陽樓　みどり　新喜樂　一二三　日の出館　組合事務所

石炭商
明星公司 電話二七八番

撫順中央大街二二
撫順公司本店 電話（?）八八番

石炭部
三榮公司 電話三八八番

撫順御旅館
筑紫館本支店 本店 電話（?）九番 支店 電話（?）六四番

撫順會社團

瀨田新聞舖 電話一四一番

羽團扇

入船亭扇橋演
濱田如洗畫

明けましておめでたうございます、この度滿洲日報社から本紙御愛讀の皆樣方のお慰みに相成るやう、何か新年に緣みの落語をおしやべりいたせとの御命令によりまして、至つてお耶のないお笑ひを一席申上ます、

さて一夜明くれば一陽來復、二日は初夢寶船、一月二日の夕方になりますと此の寶船賣りで中は賑やかになります、この寶船は綾河半紙を四つ切りにいたしましたのへ龍頭高欄つき、帆に寶と云ふ文字を現はし、いろ／＼の寶物を堆く積込んだ寶船を印刷したものでございます、是を賣り歩きます、家々で是を買つて枕の下へ敷いて寢ますと吉夢を見るといふ、其夢で一年の吉凶を占なふといふのでございます ○「寶船々々七福神乘合の大寶々々、惠方萬歲寶船々々 女房「モシ寶船屋さん ○「ヘエお呼びで 女「船を二枚下さいまし ○「ヘエ有難うございます、

女「オヤお歸りなさい、今寶船を買つたの、枕の下へ入れますよ、亭主「ウムさうか、今年はいゝ夢を見たいものだなア 女「お互ひにどんな夢を見ても隱しつこなしに話しませうねえ 亭「ウムさうしよう、それじやアそろ／＼寢やうじやアねへか 女「さうしませうねへ 亭「なアお松、どんな夢を見ても話しをしねへよ 松「ア、お前さんもかくしちやアいけませんよ、亭「ウム大丈夫だ、ナアお松、ヲイどんな夢を見たへ 松「まだ寢入りもしないのに夢なんぞ見やアしないよ、ねへ竹さん 竹「何だへ、松「夢を見たかへ 竹「まだ見やアしねへよ、ヱ、お松 松「なんだへ夢かへ 竹「見たか 松「まだ見ないよ 竹「早く見ねへな 松「さうすぐには見られませんよ、ねへお前さん……アラ、夢を見てゐるんだよ何か食べて居るね、口をもぐ／＼してゐるよ、アラマア大きな提灯が鼻から出たよ、アラ引つ込んだよ……アラ又出たよ、ア、又引つ込んで又出たよ、アツこわれて蠟が流れ出したよ、アツ口へ流れ込んだよ、ねへお前さん／＼ 竹「ウム……ア、何だ 松「お前さん夢を見たらう 竹「まだ見やアしねへよ 松「アラマアこの人はひどいよ、見ておいてかくしてさ 竹「見ねへといふのに 松「イヱ／＼たしかに見たんだよ、それを話さないのはア、わかつた、何處かの女と私にないしよで媾曳をしてゐた夢を見てゐたんだらう 竹「くだらねへ事を云ひなさんな、まだ見やアしねへといふのに 松「イヱ／＼見たんだよ、見た證據があるよ 竹「ナニ證據がある、何だ證據といふのは 松「蠟燭の蠟が流れ込んだのがたしかな證據だよ 竹「ナニ蠟が流れ込んだ、馬鹿をいふな、見ねへから見ねへと云ふんだ 松「たしかに見ておいて見ないなんてあんまりひどいよ 竹「うるせへなア、見ねへといふに」表から戸をドン／＼叩きながら 家主「オイ此處を開けてくんな 竹「見やアがれ家主さんが來たじやアねへか、早く表を開けろよ 松「アイヨ」と云つて表を開けて 松「オヤ家主さん大層遲く何方へ 家「ナニ今家へ歸らうと思つて此處を通りかゝると、大きな聲をして、見た見ねへとお前達の夫婦喧嘩、夜夜中大きな聲で見たの見ねへのつて馬鹿々々しいじやアねへか、いゝかげんにしねへよ、近所迷惑だ 竹「ナアニ全く見ねへから見ねへといふんです、松「イヱ／＼たしかに見たに相違ありません、蠟燭の蠟が流れ込んだのがたしかな證據です 家「オイ竹さん、馬鹿な眞似をしなさんなよ、蠟燭なんぞ、火傷でもしたらどうするんだ 竹「蠟燭なんぞ有りやアしませんよ 家「だつてお松さんがア、云つてゐるじやアないか 竹「イヱ／＼大間違ひですよ、あれは今夜は寶船を敷いて寢て夢を見たら話しつこをしやうと約束したのです、スルと私がウト／＼とするとすぐに起して見た／＼といふのですがまだ何にも夢を見やアしねえんですからそれで見ねえといつたんですよ 家「何だそんな事か、オイお松さんまだ見ねえんだとよ、サア／＼仲よくして寢なせえ、俺は歸えるから 竹「どうも濟みません、ヘエ左樣なら……見やアがれ、見もしねえものを見たと云やアがるから家主さんが來たじやアねえか 松「お前さんが惡いやアね 竹「何が惡いんだ 松「夢を見てゐながら見ないといふから 竹「アレツ、見ねえから見ねえといふんだ 松「見たから見たといふのさ 竹「エ、うるせへ見ねえといふのに」

○「オイコラ、此處を開けろ、竹「見やアがれ、今度は巡査さんがおいでなすつた……ヘエ、只今／＼」と表をガラリと開けますとスウーツと入つて來たのは巡査さんではなく身には緋の衣を着て白の大口袴をはいて すゞかけをかけ、額にときんを頂き、白髮白髯面は紅にして鼻高く、兩眼は日月の如くするどく片手に羽團扇を持つた天狗ですから驚いた竹次郎 竹「ヘヱいらつしやいまし 天「コレ竹次郎、なぜ見た夢をかくす、連れ添ふ女房にかくしだて致すとは實に不屆き至極ぢや、サア有體に見た夢を話せ 竹「全く見ませんので 天「ヨシ／＼云ふな、只今云はして見せるぞ」と云ふかと思ふと左手を伸ばして竹次郎の襟がみをムンズと摑んで宙へつり上た、其まゝ風を切つてヒューツと飛んだがやがて大地へ投出されたので竹次郎が目を開いて見ると、岩石峨々たる深山千年杉のむらだち、杉の木の間を洩るゝ月光に見ると正面の岩に腰を下した大天狗、天「サア眞直に見た夢の話しをいたせ、話をいたさぬにおいては八ツ裂にいたすぞ 竹「ヘエどうも恐れ入りました、此處は何處といふ處でございますか 天「此處は鞍馬山の僧正ケ谷だ 竹「ヘエ天狗樣どうして私の内から此處まで來たのです 天「それは飛んで來たのだ 竹「ヘヱー繪で見ましても烏天狗樣は肩に羽根が生へてゐるから飛ますが貴方は羽根が無くつてよく飛べますねえ 天「ウム不審は尤もじや俺は羽根がなくとも飛べるのは是じや、羽團扇じや、これが天狗の家の寶じや、是を上下して煽ぐと天へ昇る、飛行自在じや 竹「ヘエそれはお天狗樣でなければ飛べませんのですか 天「イヤ／＼それは人間でも誰でも此團扇さへ持てば通力が現はれるのじや 竹「ヘエ大した寶ですねへ 天「コレ／＼そんなことはどうでもよい、早く夢の話を致せ 竹「ヘヱそれではお話をいたします、どうか扇を一本お貸し下さい 天「この山の中に扇はない 竹「それでは恐れ入りますがその羽團扇を一寸貸して下さい 天「これは人間の手に渡すべき物ではないから貸すことは出來ん 竹「ヘエ、それではお話も出來ません」天「ヨシ然らば八ツ裂きにいたしてくれん 竹「マア／＼待つて下さい、お天狗樣といふものは理窟のわからねへものでございますねえなぜとおつしやい、私が夢の話をしないといふのじやアございませんよ、お話致しますから羽團扇を扇の代りに貸して下さいといふのに貴方がしみつたれで貸さないといふのじやアございませんか、羽團扇さへ貸して下されば夢の話をするといふのです 天「コレ／＼理窟を云ふなよ、然らば貸してつかはす、然し粗末にいたすなよ 竹「ヘヱ、お目の前で持つて居りますのですから決して粗末にはいたしません、それではいよ／＼夢の話を致します、夢は兩國の川開きの夢でございます、玉屋鍵屋の大花火で實に兩國は賑やかでございます 天「ウム／＼、俺も一度此の京都から見物に行つたことがあつた其時は打揚げた花火が俺の鼻の先で開いたので鼻の頭を火傷して驚いたよ 竹「川の兩河岸のお茶屋では棧敷をかけて手摺りを紅白の布で卷いて赤い毛せんを敷つめ、ほうづき提灯を澤山つるして、見物は山のやう、川の中は船で水が見えない位で、屋形屋根船涼み船、屋根船の中では綺麗な女の子が三味線をひいて、スチヤラカチヤン／＼、チンツルツン／＼オヤスチヤラカチヤン／＼チンツルツン」天「ヲイ／＼、さう羽團扇をバタ／＼やると身體が浮いてあぶないソレあぶないといふのに、素人のくせに、止せといふのに」竹「スチヤラカチヤン／＼、チンシン／＼、ヤアイ置去り天狗奴、ざまア見やアがれ、此の羽團扇があれば家へ歸れるんだぞ、スチヤラカチヤン／＼ツンチンツン、ヲヤ／＼下が賑やかだな、ア、此處は京都の新京極だナ、賑やかだナア、オヤ／＼此處は大阪、ア、神戸だ、早いナア、スチラカチヤン／＼チンツルツン、瀨戸内海を大空から見下した景色は何とも云へない宜い眺めだナア、スチヤラカチヤン／＼チンツルツンオ、早い／＼、海の中に大きな鳥居が立つてゐる、アレが安藝の宮島か、モウ下の關へ來てしまつた、向ふ側は九州の門司、右手は朝鮮、一つ釜山迄飛び越してやれ一ノ二ツ三イスチヤラカチヤン／＼ツルチンツン、オイ／＼京城へ來てしまつた、あれが南大門 此方が總督府か、いゝ所だね、スチヤラカチヤン／＼、オヤ大きな川が見えるナアレが支那と境のアノ鴨綠江か、此方が所謂義州、向ふ側が安東、鐵橋の下を大きな船が通るが帆を下さないね、ア、成程[illegible]れるわけだよ、鐵橋の方が開いてしまつた、面白いナ、スチヤラカチヤン／＼ツルチンツン、恐ろしく高い山が續いてゐるね、摩天嶺つて云ふ所だナ、モウ奉天へ來てしまつた、あんまり先へ行くと蒙古へ入つてしまふから此邊から後戻りをしやう、次は遼陽、鞍山、海城、大石橋と、營口へ行くには此處で乘換るんだナ、大連が見えて來た、立派な市街だナア、眞ん中が大廣場でホテルと民政署、滿洲本社は大きな建物だ、綺麗な公園はあれが有名な中央公園か、彼方の立派な家の屋根に滿洲日報といふ旗が立つてゐる、あすこへ行つて一ぷくしやうか、いゝ景色だナ、お松を一緒に連れて來て見せてやりたいね、アツしまつた、家へ歸るのをすつかり忘れてゐた、大變々々スチヤラカチヤン／＼ツンチンツン……オヤ／＼是は大變だぞ、何方を見ても山も陸も見えなくなつたよ……ア、少しくたびれて來た、スチラカチヤン／＼ア、手が痛くなつて來た、ア、痛い、スチヤラカチヤン／＼ツンチンツン、アゝ痛、スチヤラカチヤン／＼ヲ、痛た、これはたまらない、少し休みたいなア、スチヤラカチヤン／＼ア、痛い」と手を休めたからたまりせん、スウツト風を切つて大海の眞中へ落ちました、ドブンと海中へ落ち入つたかと思ふと落ちた所が板の間でございます、眼を開いて見ると、朱の高欄に金の金物龍頭の船で七珍萬寶が積重ねてありまして、十分に張つた帆は金襴で模樣は寶盡しが織出してあります、寶といふ文字が金絲銀絲で縫になつて居ります、胴の間に話聲が致しますからソツト行つて見ますとお酒宴の最中で、やがて一人の髯の生へた方が此方を見て驚いて ○「コレ／＼其方は何者だ 竹「ヘヱ人間でございます ○「此處は人間の來る所ではない、又來たいといつても參ることの出來ぬ大海の眞ん中の寶船、如何いたしてまゐつた 竹「落ちてまゐりましたので、どうぞお助けを願ひます ×「コレサ毘沙門よいではないか、人間、此方へまゐり一杯飲め、サア／＼辨天其の人間に酌をしてやんなさい 辨天「サア／＼大黑樣のお盃、有難くお受けよ、私がお酌をしてあげるから 竹「ヘヱ、貴方樣が辨天樣で、マア／＼お美しい 壽老人「サア肴をあげやう 竹「ヘヱ恐れ入ります、これは何でございます 壽「これはゑびす樣の進物で鯛の刺身じや 竹「ヘヱどうも結構な……アゝいゝ御酒でございますナ 辨「サア／＼お重ね／＼ 竹「ヘヱ／＼どうも大層醉ひまして宜い心地になりました、辨天樣琵琶でかつぽれを彈いて下さい、私が踊りませう」と竹次郎いゝ心地になつてかつぽれ／＼豐年じや萬作じやと踊りながら其處へ寢てしまひました 大黑「オイ辨天、人間が醉つて寢てしまつた、彼方へつれて行つて寢かしてやんなさい 辨「ハイ、風を引くといけないから彼方へ行つてお寢なさい、ねへお前さん／＼ 竹「ウムかつぽれ／＼ 松「お前さん／＼ 竹「ウム……、アツお前はお松…… 松「お前さん夢を見たかへ 竹「ウム、お前と喧嘩をして家主さんが來て 松「家主さんなんか來やアしないよ 竹「ア、それから夢だ 松「どうしたの、竹「その後へ天狗樣が來て俺がさらわれて鞍馬山へ行つて、天狗の羽團扇をごまかして取つて滿洲まで飛んで行つた、方々を見物して大連から歸る途中海の眞中へ落ちて 松「マア危なかつたね 竹「夢だよ、それが七福神乘合の寶船でね毘沙門樣に叱られて大黑樣が盃をくれて、壽老人が鯛の刺身をくれて辨天樣のお酌でお酒を飲んで宜い心地になつてかつぽれを踊り出し豐年じや萬作じやと云つて踊つてゐる中に俺はそこへ寢てしまつた 松「マア寶船へ寢たのかえ、竹「ウム、スルト辨天樣が此處で寢ると風を引くから彼方へ行つて寢ろと起した 松「わたしが起したんだよ 竹「ア、夢か 松「マアお目出たいね、サア／＼目覺ましに煙草をのんで話しておくれよ 竹「ウム煙草か有難いナ 松「船に居たのは何樣だへ 竹「船に居たのは辨天毘沙門布袋に惠比壽大黑壽老人樣さ 松「辨天毘沙門布袋に惠比壽大黑樣に壽老人樣、それではお前六福じやアないか 竹「今一服はのんでしまつた」

謹賀新年

乾武

本莊宗三

池田公雄

渡部喜兵衛

柳原勘次郎

長谷場純

木谷鶴次郎

向井友次郎

大和田勝次郎

赤十字社金州委員部 松元計介

關東廳農事試驗場 中富貞夫 鴨脚光朝 近藤鐵馬 蘆澤清見

關東廳種畜場種馬所 倉賀野晉 外職員一同

金州郵便局長 太田鐵也 外局員一同

金州金融組合理事 鹽澤角兵衛

金州驛長 廣谷源助 外驛員一同

金州保線 立道清一 外保線員一同

棗田玖助

本丸弘

戸崎靖雄

閻傳紱

金州南山通り 福昌農園 電話一八番

土木建築請負業 金州新市街 泉屋與吉 電話三六番

金州新市街 金州醫院 竹森哲三郎 電話 本院一〇六番 分院六五番

金州民政支署前 食料雜貨商 阿津阪商店 電話三二番 振替大連四三五番

金州赤城町 白米木炭食料雜貨 鎌田商店 電話一一五番

金州筑紫町 和洋菓子 大阪每日新聞 古物商 小島商店 電話一二六番

金州赤城町 西園商店 電話一二五番

金州南山通り 果樹園 南山園 高木熊三郎 電話一〇三番

金州鳥海町 吉野洋服店 電話一三一番

明けまして御芽出たう 金州鳥海町 御料理 三浦屋 峰脇スガ 電話一一一番

金州驛前 石炭運送業 棗田洋行 店主 棗田玖助

金州旅館 棗田多都代 電話三一番

金州新市街赤城町 御料理 文廼家支店 小嶺きし 電話一一二番

明けまして御芽出度う
辰巳 五郎 千歲
八重 幾榮 十郎
駒勇 小政 茶目
琴次 彌生 トンボ
金之介 清香 仲居お玉

金州驛前 會席御料理 辨當仕出所 筑紫食堂 電話三七番

金州新市街 和洋御料理 辨當仕出 うどんそば 柳屋食堂 電話七八番

綿糸紡績 內外綿株式會社 金州支店 電話七六(事務所) 七七(工場)

鳴瀨蕃三

金州鳥海町 山本新聞舖 電話六四番

謹賀新年

關東長官
木下謙次郎

關東廳警務局長
久保豊四郎

關東廳內務局長
神田純一

關東廳財務部長
西山佐內

關東廳高等官
食堂會員一同

關東軍司令官
村岡長太郎

關東軍參謀長
齋藤恒

關東軍司令部
高等官一同

關東軍憲兵隊長
小山介藏

旅順要塞司令官
河田四十一

步兵第十五聯隊長
內藤貞一

旅順重砲兵大隊長
吉村文吉

佐世保鎭守府參謀
（關東州駐在）
北岡春雄

旅順海軍無線電信所長
柴田瀧三郎

旅順憲兵分隊長
有馬虎雄

旅順衞戍病院長
森清吉

旅順高等法院檢察官長
安岡靜四郎

旅順高等法院
高等官一同

旅順民政署長
藤原鐵太郎

旅順民政署庶務課長
米內山震作

旅順民政署
荒井平馬
澤口留藏
長嶋有具
中里末雄
齋藤仁吉
平井齊二
寺山屯
水野豊
志村源藏
佐藤半重
中元清壽

旅順醫院
院長
山根政治

耳鼻咽喉科部長
井波疇吉

出診所長
成田彦次郎

眼科部長
宮下忠雄

小兒科部長
田中利雄

產婦人科部長
萩原貞熊

外科部長
加藤守吉

物療部長
深井新太郎

旅順醫院病理部長
旅順婦人病院長
大槻滿次郎

旅順療病院長
大津尙

旅順工科大學
食堂會員一同

旅順第一中學校長
藤井專隨

旅順第二中學校長
横佩章吉

旅順高等女學校長
佐藤馬太

旅順師範學堂長
津田元德

旅順市長
平石氏人

第二尋常高等小學校長
古賀竹次郎

旅順公學堂長
山口二郎

水師營公學堂長
良川榮作

旅順刑務所長
町田德次郎

海關分關長
大津昇雲

旅旅驛長
伊藤眞一

旅順郵便局長
西原廣周

海務局支局長
金行祐八

日本赤十字社滿洲委員本部
主事
我澤喜太郎

旅順金融組合
理事
中地小平

旅順市會議長
米岡規雄

旅順市會議員（いろは順）
細川良久
東畑英夫
吉武忠吉
吉村信貞
田中德三郎
村上信二
上島德三郎
矢幡謙治
福澤重德

朝鮮銀行旅順出張所
工藤璋平

正隆銀行旅順支店
山本善男

旅順蠶糸株式會社
高塚石之助

滿洲船渠株式會社旅順工場
須原坦

旅順
千歲俱樂部

年末年始の禮を缺く
旅順警察署長
高山勝司

年末年始の禮を缺く
旅順市助役
岸田愛文

特志婦人會旅順支會

將校婦人會旅順支會

旅順婦人修養會

滿洲日報社
旅順支社
中村如峰
鵜川久助
西田キマ子

謹賀新年 (西部大連)

滿鐵沙河口工場長 船田要之助 滿鐵沙河口工場 沙河口霞町六十八

沙河口工場次長 三宅亮三郎 南滿洲鐵道株式會社

大連市楓町二十一番地 技師長 井上高富 電話四五一六番

沙河口警察署長 關東廳警部 飯島慶藏 聖德街三丁目一七〇

株式會社大連機械製作所 取締役兼支配人 森川莊吉 大連市台山町二三

河野讓 沙河口神社々務所

沙河口大正通 小田斌 電話九五〇六番 九〇六六番

沙河口郵便局長 大連中央電話局沙河口分局長 眞山明

大連聖德街郵便所長 岩永龜次 電話九二〇〇番

霞町郵便所長 二宮由太郎

沙河口驛長 宇野武治

豐糧社 酒造業 栢植忠夫 電話九五六二番

滿洲棉花株式會社 矢中快輔

高橋仁一

立川雲平

和洋紙 文具類 沙河口仲町三十一番地 水田洋行紙店 店主 江里口袈裟一 電話九五四四番

沙河口仲町四十一番地 西澤安二

沙河口仲町九 (小)小園運送店 電話九五五五番

米穀、薪炭、食料品、卸小賣 長門洋行 本店 沙河口 支店 沙河口市場六號 電話九二三八番

沙河口大正通八十一番地 疊商 兒島商店 電話九〇二九番

洋品直輸入商 現金屋雜貨店 店主 塚原寅男 沙河口京町筋

大連ハム円商會 坂元種清 聖德街三丁目百十五 電話九四八二番 振替大連三一七〇番

土木、建築、左官請負業 佐藤六太郎 聖德街四丁目七七 電話九二三三

京染洗張 西洋洗濯 古綿打直シ 製綿一式 立山商店 聖德街三丁目 電話九一一四番

機械疊製造販賣 立畠疊店 聖德街三丁目八一 電話九五五三番

米穀薪炭 和洋酒雜貨商 矢野商店 肥後屋 聖德街二丁目八八 電話九三三〇番

自轉車商 藤井商會 聖德街二丁目一二一 電話九四四九番

吳服 雜貨商 山本屋 聖德街一 電話九四六二番

食料雜貨商 三河屋商店 聖德街三丁目一二三 栗本勇次郎 電話九五四五番

萬小間物、藥種賣藥、洋雜貨 百貨店 村上屋商店 聖德街 村上晉一 電話九三〇六番

吳服太物 和洋雜貨 毛糸各種 メリヤス類 細谷商店 聖德街三丁目

表具師 土田他吉郎 聖德街一丁目二百九十番地 電話九二二三番

ふくべ堂 菓子商 服部廉平 聖德街三丁目百十七番地

御料理 仕出し 三春壽し 三春屋 聖德街五丁目 電話九四三七番

清酒高鳳釀造元 和泉屋商店 聖德街 電話九三一一番

表具類一切 製造商 岡本表具店 聖德街二丁目 電話九三二一番

食料雜貨 門根商店 沙河口黃金町八七 電話九四四二番

仲町三六 東京生そば 東庵 眞山林藏 電話九〇四七番

紙卷煙草 口付煙草 金口兩切 各種製造 販賣業 不二商會 藤崎芳一郎 沙河口黃金町四〇

一般倉庫業 森脇太郎 沙河口黃金町四三 電話九二一一番

沙河口實業會

沙河口市場組合 電話九三三九番

沙河口藥業組合

沙河口飲食店營業組合 電話九四〇五番

滿洲石鹼株式會社 大連市裾野町五十六番地

沙河口禮葬株式會社 沙河口大正通六十四番地(電車通) 電話九五二〇番

社團法人 聖德會 聖德街二丁目百番地 電話九五六七番

大連市沙河口工場地區 昌光硝子株式會社 電話九一七四番

沙河口仲町八六 內科小兒科 長濱醫院 電話九〇四五番 長濱丹治

大正通 中田醫院 電話九〇〇八番 中田靜雄

聖德街四丁目一一六 高橋醫院 電話九二一三番 高橋學

黃金町二番地 小兒科 梅森醫院 電話九五一〇番 院長 梅森實

大正通り 比企同生醫院 電話九五五九番 比企哲夫

仲町一八番地 竹澤醫院 電話九〇五四番 竹澤忠郎

齒科醫師 的場梁造 聖德街一丁目一五八

營業品目 サニタリ特乳 サニタリ全乳 サニタリ脱脂乳 クリーム、バター 台子山改名 中安牧場 搾乳所 大連市臺子山 販賣所 大連市聖德街 電話九二三四番 中安虎次

營業科目 苗木種子、園藝農具 害虫驅除藥、肥料 苹果輸出 大連市沙河口大正通七〇 營業部 鮮滿大正園 第一農場 朝鮮京釜線勿禁 第二農場 同釜山鎭新左水營

滿鐵沙河口工場指定 關東廳購買組合沙河口支部指定 技術本位 渡邊洋服店 大連市沙河口大正通四二番地 電話九二四七番

醬油味噌釀造元 朝日商會 黃金町三〇 朝枝唐一 電話九三三一番

滿洲醬油釀造合資會社 沙河口西町五五 樽谷百合松 電話九〇二三番

料理 樂天閣 星ケ浦 電話九五一三番

圖書雜誌、內外文房具 和洋各紙、運動用具 小松勉強堂 大連市沙河口仲町 電話九五二一番

聖德實業會 的場梁造 岡田榮太郎 高井孝一 秋山義孝 矢野惣吉 吉武龍太郎 伊藤勘太郎 瓶子惣七

正隆銀行派出所長 藤岡俊一

合資會社 沙河口葬祭社 沙河口元町五番地 業務擔當員 門田賀久見 電話九四七六番

秋山式ペーチカ 秋山式溫水煖房 製造元 秋山商會 聖德街三丁目 電話九三一七番 振替口座大連二五五〇番

大德屋 岡本德次 聖德街三丁目 電話九二二五番

昭德亭 岡本エン 電話九三三八番

土木建築 設計施行 名越工務所 聖德街四丁目二四番地 名越壽太郎 電話九一〇五番

星ケ浦 溫泉ホテル (電話九一六六番) 田畑百藏

滿壽雪 八幡正宗 釀造元 宇佐屋商店 電話九〇六七番 沙河口仲町三九番地 田口庄松

蠶商 田中糸吉商店 大連市沙河口仲町四九 電話 呼出九〇一六番

自轉車附屬品商 牛島商會 大連市沙河口仲町四二 電話九〇一六番

靴製造 片岡商店 大連市沙河口仲町三三

鳥羽洋行代理店 稻垣商店 大連市沙河口大正通八九

食料雜貨 (光)商店 大連市沙河口大正通八〇 電話九五三九番

鈴井組運送店 大連市沙河口元町二四番地 電話九五三九番

黑田洋服店 大連市沙河口仲町三二番地 黑田鐵太郎 電話九二五一番

藥種商 大久保人命堂 大連市沙河口元町三十四番地 大久保伊之助 電話九五二九番

人氣屋 洋品店 脇崎商店 大連市沙河口巴町

スター商會 大連市沙河口巴町

建築材料商 柳原洋行 大連市沙河口京町九七 電話九〇二八番

自轉車人力車附屬品商 田村商會沙河口支店 大連市大正通六二番地 電話九三九七番

宇治茶 岩戸屋茶店 大連市大正通五十三番地 電話九五〇一 振替大連三四八一番

沙河口滿鐵賣店 食料雜貨 前田商店 電話九〇四三番

各種綿類製造 三新洋行 藤原勝治郎 沙河口巴町十六番地 電話九五二二番

藥品賣藥度量衡器 小山平和堂 沙河口警察署前 電話九四〇五番

小間物、化粧品、半衿、紐類、袋物、教育玩具、煙草 今中洋行 沙河口巴町五五 支店 沙河口公設市場特一號店舖 世帶道具類一式 呼電話九三二九番

沙河口黃金町九一 滿洲牧場支店 電話九〇三七番 野口

田中介辨事務所 田中德隆 電話九四三六番

沙河口巴町六 松林利榮 電話九五〇〇番

文具各種藥種賣藥 渡邊運送店 沙河口大正通 電話九五六八番

島崎岩太郎 大連市沙河口京町二十四

進物御用達 青山園 沙河口 電話九〇一二番

沙河口巴町一六 小山平和堂 電話九四〇五番
同 仲町三六 緒方藥局 電話九五三五番
同 大正通三八 石川誠光堂 電話九四一八番
同 大正通一〇 土田文化堂 電話九三四二番
同 巴町四五 古賀藥房 電話九五四八番
同 聖德街三丁目 服部德生堂
同 大正通七八 岡榮藥店 電話九五三二番

年賀 滿砂 電話九〇二五番

沙河口仲町 秀英堂活版部 沙河口仲町 秀英堂石版部

製造科目 化學用、醬料器、電燈用、瓦斯用、通信用、船舶用 食器 菓子瓶、ホヤ、投藥瓶、牛乳ビン其他硝子器一式 鈴木硝子工場 鈴木豐吉 大連市沙河口大正通電車停留所角 電話(沙)九四〇八番

美乃鶴 發賣元 西鄉屋營業所 沙河口大正通一一三番地 電話九四〇九番 沙河口黃金町 西鄉屋釀造場

大連煉瓦會社 代表者 岩崎勳 聖德街三丁目 電九〇二四番

星ケ浦 御料理 星乃家 電話九〇八五番

滿洲棉花株式會社 本店 大連市沙河口下萩町 出張所 東京市日本橋區吳服町十番地 鹽水港ビル四階

家傳鍼灸 松尾仙庵堂 聖德街三丁目 松尾芳 電九四七八番

石田寫眞館 大連市沙河口大正通五十番地 電話九三〇四番

美術看板製作 眞鍮看板製作 肖像畫揮毫 高橋看板店 大連市沙河口仲町五十一番地 呼出電話九〇一六番

滿洲日報聯合販賣店
沙河口 滿遼社新聞店 電話九五三〇番
沙河口 岡榮新聞店 電話九五三二番
沙河口 前田新聞店 電話九二四九番
聖德街 岡田新聞店 電話九五(一)七番

大久保彦左衛門 (二六)

悟道軒圓玉講演
丸尾至陽畫

五郎兵衛に武藝を

松前屋五郎兵衛は番頭の新兵衛より小揚の若い者が來たと聞いて 五「あゝさうか何う云ふ御用か、此方へお通し申せ、さアみなさん、そこでは御挨拶が出來ない、これへお入りください、只今は結構な物をくださいましてお禮を申し上げます 甲「何うも恐れ入りました、私共が參りましたは旦那に少し御無理を願ひたいことがございまして 五「ハア何う云ふことですな、町内に頼母講でも出來ますか 甲「イエ、さう云ふ譯ぢやアございません、ざつくばらんにお話し申しますが、何うでございませう、私共に柔術と劍術を敎へて頂きたいもので 五「それは飛んだこと私は米屋の主人、米のことを敎へてくれとのお頼みなればお話しもいたしませうが柔術や劍術を知る譯がございません 甲「旦那少しお待ちなすつて私は大工でございますがこゝにゐるは小揚人足、小揚と云へば米を扱ふのは稼業、して見れば米の講釋はあなたから聞かずとも知つて居ります、それで柔術と劍術を敎へて戴きたいと思つて若い者が顏を揃へて出た樣な譯で、 五「イヤ、私が存してゐるならば御指南もいたしませうが、知らぬことはお話し申すことも出來ません 甲「若し旦那、さうお前さんが白を切ると云ふことがございますか、なア次郎、旦那は劍術や柔術は知らねえと云ふんだが 丙「知らねえとは云はせねえ、大した腕前に、夫は何だらう、能ある鷹は爪をかくすとでも云ふんだらう 甲「感心々々、主がそれ程の物識りとは思はなかつた、ねえ旦那知らねえお前さんがあの清小亭で拔刀を持つた三人を投げ出すことが出來るものぢやアねえ 五「アハヽヽ、あれを御覽なすつて私に武藝の心得があると思召したか、イヤそれは大笑ひ、よくお聞きください、あの時私がむかうのなすがまゝにして置くと斬れます、そこでむかふで拔いた時に突然飛び込んで引倒しました、私の運がよかつた、先方が醉つてゐましたから手もなく押へることが出來ました、人が命を捨てるか助かるかで此方が殺されるか二つに一つ、さうなると我身ながら何うしてあんなことが出來たかと思う樣な放れ業も出來ます、しかしあとで考へて見てゾッとしますな、まア／＼劍術や柔術を習ふひまに足に灸を据えて置く方がよろしい、無法者に出會つた時は直に逃げるようになさい、足を達者にして置くの極意でございます 甲「そんなことを云つちや困る、ねえ旦那、何も敎へたところで擲り行く樣なこともありますめえ 五「それ程習ひたいと思つたならば道場へお出なさい、五郎何に付け屆けをすれば立派な先生がおしへてくれます 甲「イエお前さんの流儀に限るんだ 五「これは恐れ入つた、成程私もすこしは劍術の稽古をしたこともございますが、それをあなたが一目見て劍術が何流柔術が何と云つたところは實に感心した、何流とお認めなすつた 甲「ヘエ、何でござんす、オイ何流と見たな 乙「それは何だな吉田流かな、それとも杉山流か」 甲「按摩ぢやアねえや、旦那何でございます、深いところまで敎て下、いとは申しません三人の侍を投り出してみなさん纏々と言つたところだけでよろしうございます、さわりだけ敎へて頂きたいものだ」素人が義太夫を習ふ樣 五「では恁うしませう、夜になつたら遊びにお出なさい、柔術はかう云ふもの劍術はかう云ふものとそのお話をいたしませう 甲「それは何うも有難うございます、デハ明晩からまゐりますから」と若い者は喜んで戻る。

辰歲生れのスター…(二)

まだこれからよ

藤田房子 (松竹―藝名と同じ)

新年お目出度う、相變らず可愛がつて下さいまし。妾も辰歲の大正五年生れです、これでも江戸ッ子よ……あら誰方か笑つてゐらつしやるのね、だつて麻布で生れたんですもの、また富山小學校に通つてますからこれから本當にウンと映畫の方も勉強する積りなのよ、始めて映畫に出たのは大正十三年の二月で、蒲田のスタヂオへ入つたのです、今までに一番評判がよかつたのは『恩』です、然もこれが初演なんです、いえ自慢してるんぢやないわ、それから『カラボタン』にも菊池寛先生の『受難華』にも出演しました、妾は運動が何より好きです、それから方々のスタヂオを見て回る事ですの。(因に藤田房子はその姉なり)

映畫と演藝

景氣のいゝ初興行 どこもこゝも大入滿員

昇龍の辰歲の緣起を祝ふて華々しく初春興行の蓋を明けた大連興行界は各方面ともに大入滿員の大盛況で流石諒闇明けの正月らしい景氣を見せた、先づ大連劇場は喜劇界一方の雄曾我廼家虎泉一座で賑やかに開演し輕妙洒脫な舞臺に正月らしい笑聲が渦卷いて素晴らしい景況を見せ歌舞伎座はお馴染の木下八百子一座が得意の狂言を選んで大車輪で舞臺を勤め殊に八百子十八番の「辨天小僧」が人氣を呼んでゐる、遊樂館は桃中軒如雲一行の浪花節が久し振りに當地浪曲黨から大喝采を博して初日早々滿員の盛況である、一方活動常設館は浪速館が日活特作品池内監督の「彌次喜多參王の卷」とグロリア、スワンソン孃の主演のパラマウント映畫「當り狂言」演藝館が帝キネ映畫市川百々之助主演の「劍人」阪妻プロダクション作品森靜子主演の小唄映畫「戀の鳥」帝國館が阪妻プロダクション作品妻三郎主演「護送の鬼」松竹作品高尾光子主演「懷しの母」「寶織角兵衛獅子」學生ローマンス館がマキノ作品、嵐長三郎主演の「學生五人男」がそれ／＼ファンの人氣を呼んで各館とも晝夜詰詰めのはちきれそうな盛況で映畫劇は不景氣風を吹き飛ばして正月氣分が横溢してゐる

松竹蒲田の新文藝映畫

新春を期し製作に着手

松竹蒲田撮影所は本年度の秋に於ては「久遠の像」「珠を抛つ」「海の勇者」「炎の空」等の文藝映畫製作に氣を吐きその後文藝映畫の製作を一時手控へてゐたが再び新春を期して邁進する事となり既報の故有島武郎氏の「或る女」夏目漱石氏の「虞美人草」や近松秋江氏の「愛欲絲相圖」畑耕一氏の「棘の樂園」等も映畫化する事を發表したが、撮影の都合で中止されてゐたモウパッサンの名篇「一女の一生」も栗島すみ子主演によつて映畫化される筈で、近い內に文壇執筆になれる傑作を數篇映畫化すべく計畫されてゐる

映畫界東西

マキノ中部撮影所で「忠臣藏」撮影中だつた伊井蓉峰は名古屋新守座の正月興行に出演。

◇

川田芳子が久し振りに出演した野村芳亭監督作品「愛の凱歌」が新春早々封切される。

◇

今度こそは來朝すると傳へられたチヤツプリンは帝國飛行協會の招待を謝絶したと。

◇

各映畫會社で辰歲生れの俳優宣傳に大童。

キネマロツピー

諒闇明けの辰の新春を迎へた映畫界の前途を祝福して、その向上と發展を祈る

× × ×

各館の新營業方針に相當の期待が繫がれる

× × ×

そして前年より以上に西洋映畫に惠まれる年であつて欲しい

謹賀新年

公主嶺土曜會 (イロハ順)
滿洲銀行公主嶺支店
公主嶺取引所信託株式會社
公主嶺電燈株式會社
正隆銀行公主嶺支店

(イロハ順)
羽田久之助
大口靖太
神田勝亥
加藤榮
海江田新之亟
橘十一郎
丹宗安一
藤井省策
淺野兼右衛門
小松光治
宮川嘉門
三村高次郎
四道爲人

公主嶺特產物組合

軍隊諸官衙御用達 滿鐵消費組合
公主嶺花園町 楠田菓子店
公主嶺菊地町 楠田支店
四平街日進街 楠田支店

海產物 食料雜貨商 榮商店 電話四三番
公主嶺驛 構内食堂 電話四九番
滿鐵社員俱樂部食堂

公主嶺土木建築業者
畠山組出張所 老原久藏
長春丸山組出張所 伊藤圓次郎
矢野組出張所 野島茂幸
丸山組 丸山武雄
近藤組出張所 松岡仙次郎
阿川洋行出張所 福富順吉
志岐組出張所 清水清一

公主嶺藥種業組合

公主嶺精米株式會社 電話二四四番

戸井呉服店 電話一二九番

武富洋服店 電話一七四番

石炭特賣業
合利洋行 電話五九番
新華公司 電話一二六番
松昌公司 電話七七番

高等雜貨 小久保商行 電話二四番

食料 建築材料商 濱田洋行 電話一一七番

ムツミヤ洋服店 電話二六七番

御料理 やまと 電話二六番

藝妓一同

御菓子商 一富士 電話二一七番

祝餅 履物商 鈴木商店 電話二六六番

熊谷靴店

軍隊滿鐵御指定 專業 丸福旅館 長電話三一一番

日支合辦 本溪湖煤鐵公司

謹賀新年

青島日本總領事館
館員一同

山東倉庫株式會社
業目
倉庫業並に之に附隨する事業
各種生產品の委託賣買並に商行爲の代理
受寄物を擔保とする資金の融通
常務取締役 須賀正俊
本社 青島小港路
出張所 濟南商埠三馬路

膠澳商埠局
總辦 趙琪

膠東防守司令
祝祥本
膠東防守司令部
參謀長 耿奎麟
膠東防守司令部
外交祕書 宓鐵錚

膠濟鐵路管理局
局長 趙藍田

輸出入
一手販賣
日本ペイント。東京製綱ロープ。古河電線。日本石油。
青島陵縣路 電話{二二七七・二二八七番

福成公司
吉田辰秋
保險代理
生命—明治生命保險。
火災—豐國火災保險。日本共立火災保險。ニユウジーランド火災保險、
海上—大阪海上火災保險。東洋海上火災保險

青島取引所錢鈔取引人
イロハ順
大和號
泰來號
裕泰號
三津和號
眞昇號

合資會社
岩城商會

山東鷄卵輸出
同業組合

營業科目
船舶鐵道貨物取扱
通關代辨業
倉庫賃貸業
船舶代理業
三菱海上火災保險申込店
青島淡陽路二六號
千葉商店
店主 千葉由藏
電話五六番

青島
興源棉行
淡島小三郎

諸機械製造
煖房裝置
青島奉天路
梅澤商會
電話{二五一八・一〇九番

青島
輸出牛取引株式會社

營業課目
鹽業部 機械部 錢鈔部
石炭部 葉煙草部 精米部
華盛公司
佐々木正作
青島冠縣路二九號
電話{二一六〇三・五三一〇、九五九番

青島曹縣路
青島燐寸株式會社
電話七三八番

青島
山東綿紡株式會社
八百寅藏

大和ホテル
高添タヤ
青島曲阜路六
電話二九五八・二〇番

青島居留民團
行政委員長
平岡小太郎

青島商業會議所
書記長
島津忠男

中村順之助
中村洋行
青島甘肅路
電話一六〇九・一九七九番

爲替仲介業
國分壯介
青島無棣路五十三號

合資會社中村組代表社員
谷川保
青島吳淞路十一號地
電話四六〇・一二九三・一七三三

青島聊城路
合名會社
森洋家具店
森清吉
電話八三一番

土木建築設計監督並鑑定請負業
田原工程局
田原政義

青島館陶路
鈴木洋行

青島
共和會

活版
石版
和洋製本
博進社印刷所
青島市場二路八三號
電話四〇六番

青島
三業組合

青島河南路第三號
新泰號
電話一七〇四番

青島
大橋商會

海陸運送
通關代辨
藤村運送店
藤村想二郎
青島雲南路一五五號
電話一九〇〇番

青島冠縣路
船舶販賣業
海陸運送業
通關代辨業
蛭子組
山邊富吉

ロイド商會
近江龍三
青島堂邑路二十一號
電話一五六三番

冷藏倉庫業
輸出入貿易商
青島長山路四一號
石橋洋行
店主 石橋藤次郎

青島
活版 石版
和洋帳簿製本
泰東號印字局
青柳憲龍

青島
辻吳服店
辻安兵衛

青島山東路
和洋雜貨
化粧品
白石洋行
電話一八八五番

青島
三信公司
內山勝美

青島
三和洋行
栫田岩雄

撫順炭販賣、大正生命保險代理
株式會社
南昌洋行青島出張所
遠藤要

青島
鈴木醫院
鈴木健吉

大連製氷株式會社
青島支店

冷藏汽船
海龍丸扱店
並に
畜產貿易
青島市場一路
第一洋行
電話{二六九・二五六四・二四五六番

在青島日本帝國總領事館坊子出張所
主任 外務書記生 福士堯行
警察署長代理 影山善次郎
警察署署員 伊藤孝仁

坊子日本人會
會長 駒井研三

山村善四郎
坊子西炭坑善芳公司
坊子煉炭所內
山村工業所

督辦山東軍務公署軍事教官
陸軍砲兵大佐
小出忠義

濟南駐在
陸軍步兵大佐
板垣征四郎

山東督辦顧問
小野弘毅

濟南
佐久間務

濟南
西山雄一

濟南
藤本近三
電話一四二九番

龍昌號
田中外二郎
濟南商埠地緯一路
電話七三番

濟南 電話二四〇番
青島 電話一七三番
庄工事部

濟南府停車場通
金水旅館
電話百〇三號
電話百五十八號

濟南麟祥門外
金盛堂

濟南二馬路
貿易商
義德公司
河本清信

山東省濟南府商埠緯一路
栗興大藥房
電話一三七二號

片倉生命保險株式會社代理店
貿易商
日中洋行
主任 原口嘉一
濟南三大馬路緯六路
電話二一六〇番

日本賣藥株式會社代理店
山東省濟南商埠二馬路
有名賣藥 純良藥品 工業藥品 醫療機械 繃帶材料 衞生材料 化粧品
吉祥公司
大藥房
電話六番